

令和6年度 天草支援学校

人権教育の取組（全体・小・中・高）

全体

令和6年度の取組

全体

①教育活動全体
による人権教育の
意識化



熊本県教育庁市町村教育局 人権同和教育課HPより

- デジタル研修資料：視聴する資料をクリックしてください。
- ① 同和問題（部落差別）【令和3年（2021年）3月作成・約22分】
 - ② 水俣病をめぐる人権【令和3年（2021年）3月作成・約12分】
 - ③ ハンセン病回復者及びその家族の人権【令和3年（2021年）3月作成・約12分】
 - ④ 拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害【令和3年（2021年）3月作成・約12分】
 - ⑤ 性的指向・性自認に関する人権【令和3年（2021年）3月作成・約15分】
 - ⑥ 新型コロナウィルス感染症に関する偏見や差別の未然防止について【令和4年（2022年）3月作成・約20分】
 - ⑦ 人権教育の指針【令和4年（2022年）3月作成・約23分】
 - ⑧ 熊本県人権行動計画【令和4年（2022年）3月作成・約14分】
 - ⑨ 開拓地の開拓者たち【令和4年（2022年）3月作成・約18分】
 - ⑩ インターネットの危険性【令和4年（2022年）3月作成・約14分】
 - ⑪ 新型コロナウィルス感染症に関する偏見や差別の未然防止について【令和4年（2022年）3月作成・約18分】
 - ⑫ 部落差別（同和問題）【概要版】【令和6年（2024年）3月作成・約18分】

③様々な人権課題に
アンテナを張る



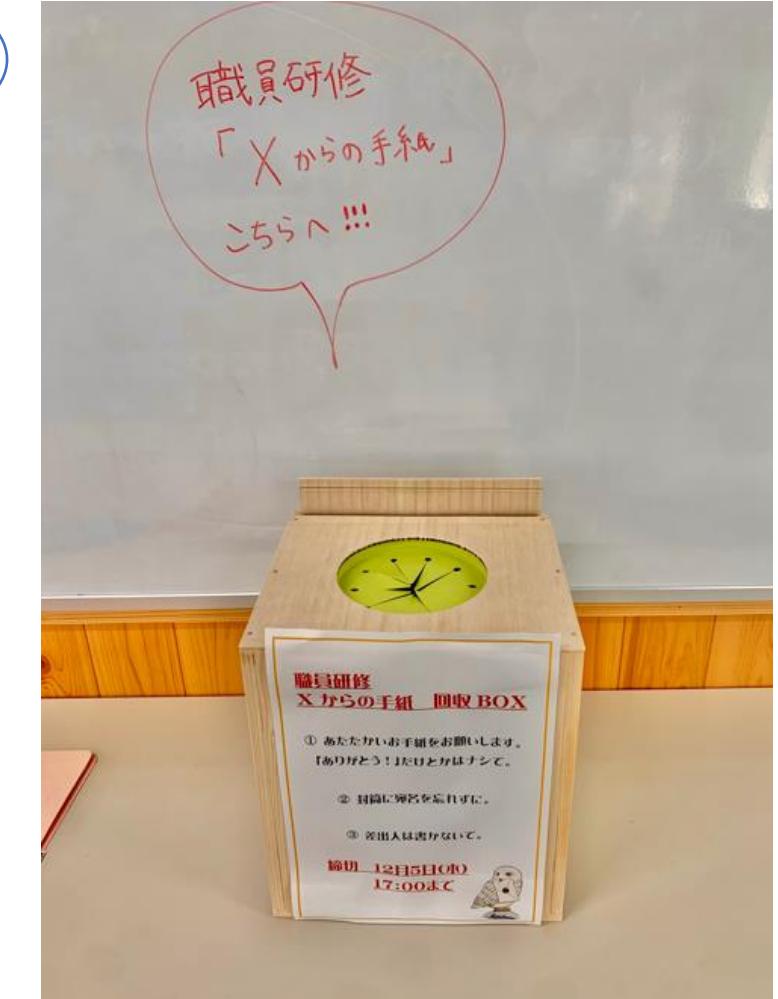
②適法性に留まらず深く考える
個々の**自律性**を大切にする



④子どもたちと向き合う
教育現場から学ぶ

今年度は、計4回の人権に関する職員研修を行いました。①人権目標を軸に単元配列表に取組内容を書き込む、②児童生徒対応を想定したロールプレイング、③様々な研修内容から選べるデジタル研修資料の視聴、④各学部の実践報告を踏まえた人権教育についての協議、を行いました。

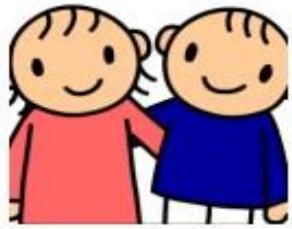
全体



また、人権週間に合わせて、⑤「Xからの手紙」と題し、友だちのよいところを改めてよく考え、手紙にして匿名でおくり合う実践をしました。全体計画（目的）を提示し、各学級に児童生徒の実態に応じて最も教育的効果が上がるよう裁量してもらいました。この取組は、児童生徒間だけではなく、職員間でも実施しました。

小学部

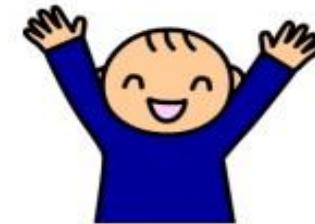
令和6年度の取組



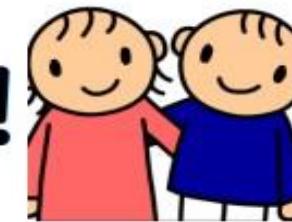
しょうがくぶ じんけん もくひょう



・がんばっていることを みつけよう!
ふやそう!



・ともだちと いっしょに やってみよう!



・まわりのひと(ちいきのひと)と
きもちを つたえあおう!



小学部の取組①（Ⅰ学期「道徳」）

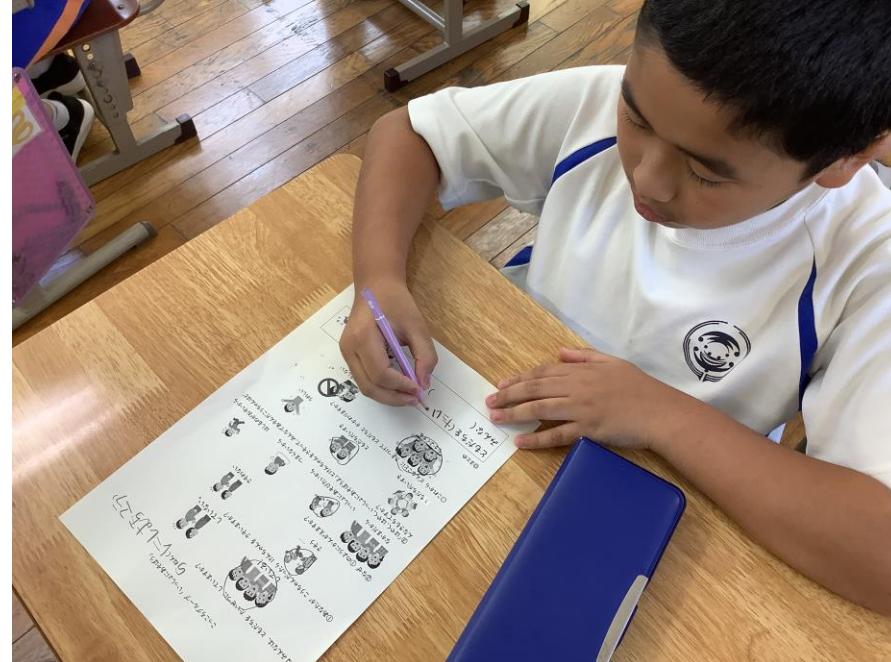
がんばっていることを みつけよう！ ふやそう！



日頃から取り組んでいる係の仕事について振り返り、頑張っていることについて考えました。自分が何の係を担当しているか、選択肢から選んで確認したり、みんなの前で実演して見せたりしました。また、何のために係の仕事をするかについて「みんなが喜んでくれる」、「みんなが喜ぶと嬉しい気持ちになる」と発表する姿も見られました。

小学部の取組②(2学期「道徳」)

がんばっていることを みつけよう！ ふやそう！



「長所」の意味について学習し、自分や友達の良いところを考えました。「窓そうじをがんばっているね」「勉強がんばっているね」「おはしくばりがじょうずだね」など友達の良いところに気付き、伝え合うことができました。

小学部の取組③ (1学期 「生活単元学習～みんなであそぼう～」)
(2学期 「生活単元学習～すきなことをやってみよう～」)

ともだちと いっしょに やってみよう！



きまりを守って仲良く遊ぶ学習や、友達と協力したり自分や友達の良さに気付いたりする学習をしました。縦割りで学年を超えたグループを編制し、高学年が中心となって積極的に低学年にルールや遊び方を教えたり、遊びに誘ったり励まし合ったり、お互いを意識し、思いやる気持ちを育む姿が見られました。

小学部の取組④（2学期「生活科～校外学習～」）

まわりのひと（ちいきのひと）ときもちをつたえあおう！



3・4年生は天草拓心高校で、馬や牛など生き物を観察したり触れたりする活動を通して、高校生とも交流しました。動物との触れ合い等を習い、高校生や動物に感謝の気持ちを持つことができました。1年生は、リンドマールTAIYOでの買い物学習を行いました。担当の方に待機所や店を案内していただき、最後は「ありがとうございました」と、感謝の気持ちを伝えることができました。

中学部

令和6年度の取組



①人権とは…
私の帽子の色
(男の子と女の子)



②人権とは…
好きなことは何?
(はい・いいえで回答)

③人権とは…
いじめ0宣言
(じぶん宣言を考えよう)

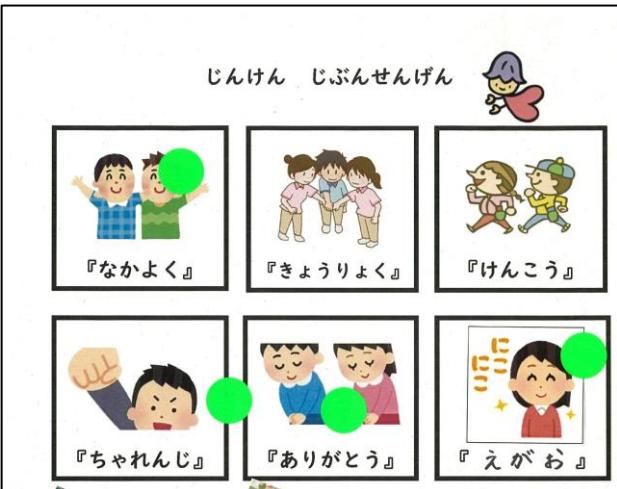


人権とは、誰もが生まれながらに生もっている権利として、一人一人全ての人が大切な存在であり、「人権」があるということを学びました。

その後、児童生徒会代表の生徒が「天草支援学校いじめ0宣言」を発表し、みんなで復唱して、いじめ0に向けて一人一人にできることは何かを考え、「じぶん宣言」を作成しました。

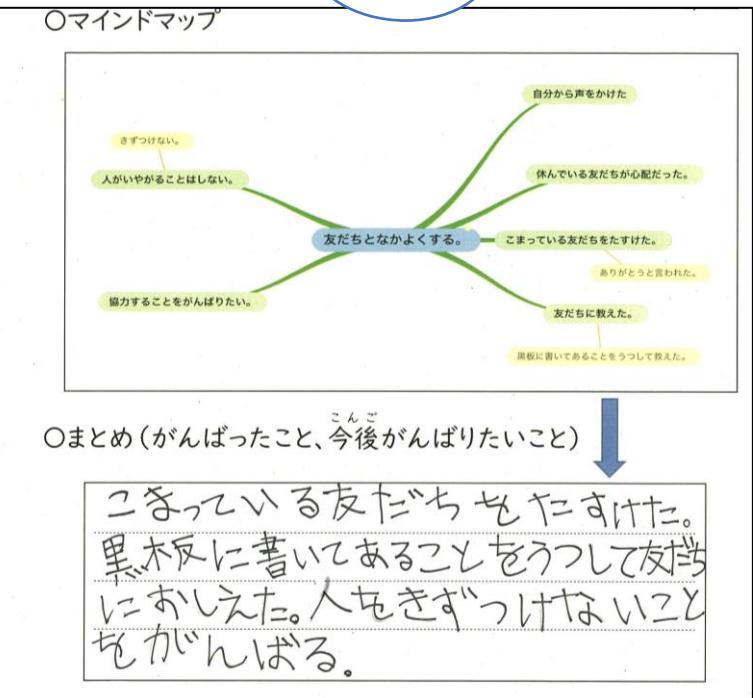
重複障がい学級Ⅱ型

①「じぶん宣言」振り返り
使用アプリ
『意思決定どーれかな?』



一般学級

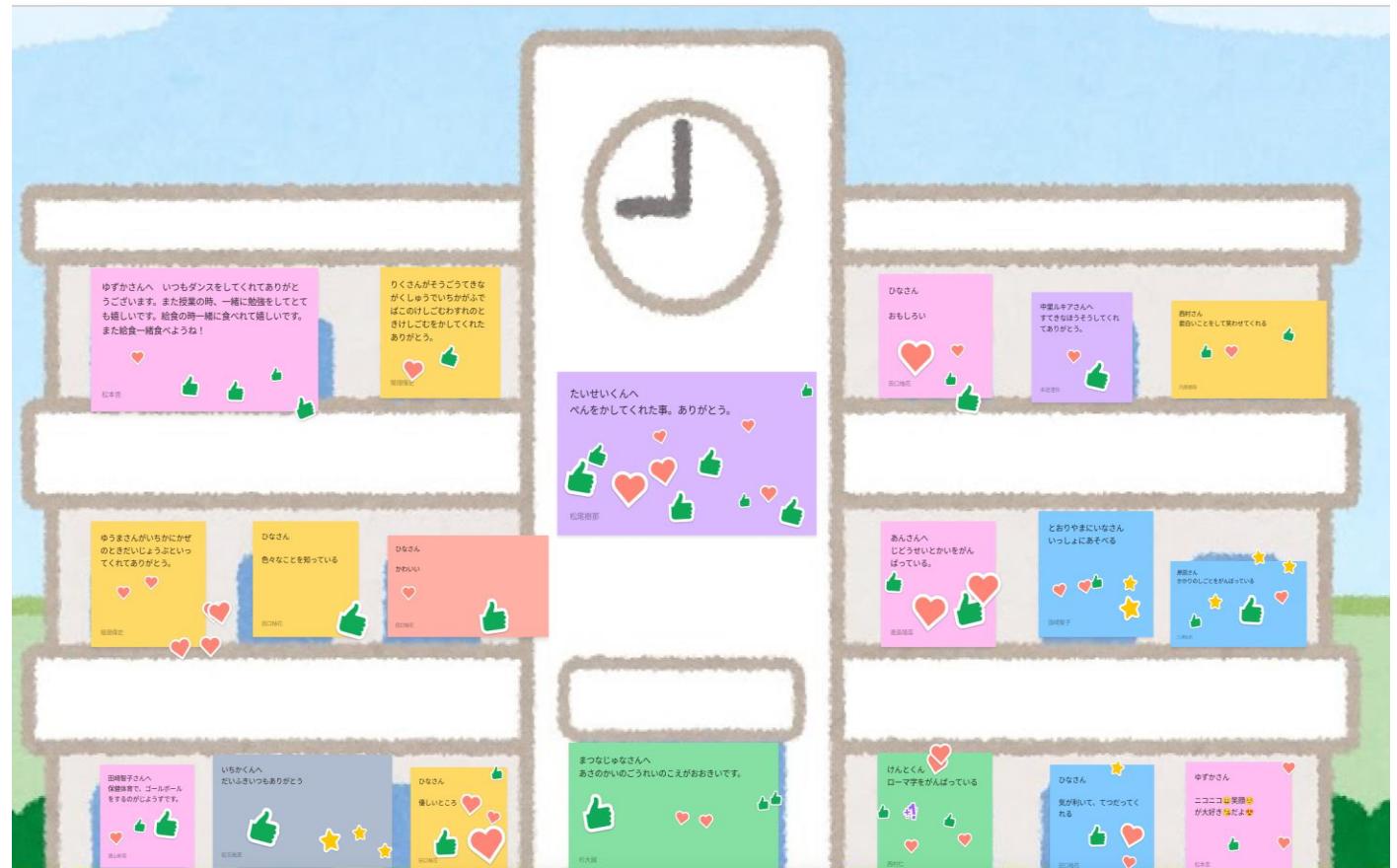
②「じぶん宣言」振り返り
使用アプリ
『シンプルマインド』



6月の「心のきずなを深める月間」に合わせて「じぶん宣言」の振り返りをしました。iPadで各アプリを使用して振り返りでまとめる内容を考え、それらを基にまとめました。作成したワークシートはキャリアパスポートにも反映しています。

※生徒が分かりやすいように「頑張ったこと」「今後がんばりたいこと」としています。

①友達の良いところをみつけよう
使用アプリ
『Figma (Figjam)』



Figjamホワイトボードを使って付箋にコメントを入力したり、「いいね」スタンプを押したりして友達の良いところを探し、みんなで認め合う活動をしました。

①一日一言・一日一動

熊本県人権月間に合わせた取組
11/29～12/6

A	B	C
11/28		
11/29	・作文発表をした生徒に重複学級の生徒が真っ先に拍手を送る姿があった。	・作文発表、表彰式に参加する生徒に自信持てる場の設定をする。
12/2	・持久走の練習で、早く走り終わった生徒全員が、大きな声で「がんばれ～！」と大きな声で応援していた。	・ある生徒のよいところを挙げ、他の生徒への行動力につなげた。
12/3	・登校時に掃除のゴミ集めを「今日もゴミ集めにきてよ」と集める生徒に対して伝えていた。 ・大きな声で誰にでも挨拶をする生徒の姿があった。	・「いつも声を掛けてくれてありがとう」と声を掛けてくれた生徒に伝えた。声を掛けられた生徒に対しても「いつも声を掛けてもらえてうれしいね」と言葉を掛けた。

人権が尊重される授業づくりに向けて、一日一言や一日一動と題して、生徒への言葉掛けや、接し方、生徒の良い言動について、コメントを入力してもらいました。(柔軟な人権意識を持ち、言葉掛けや接し方のヒントを共有しました。)

高等部

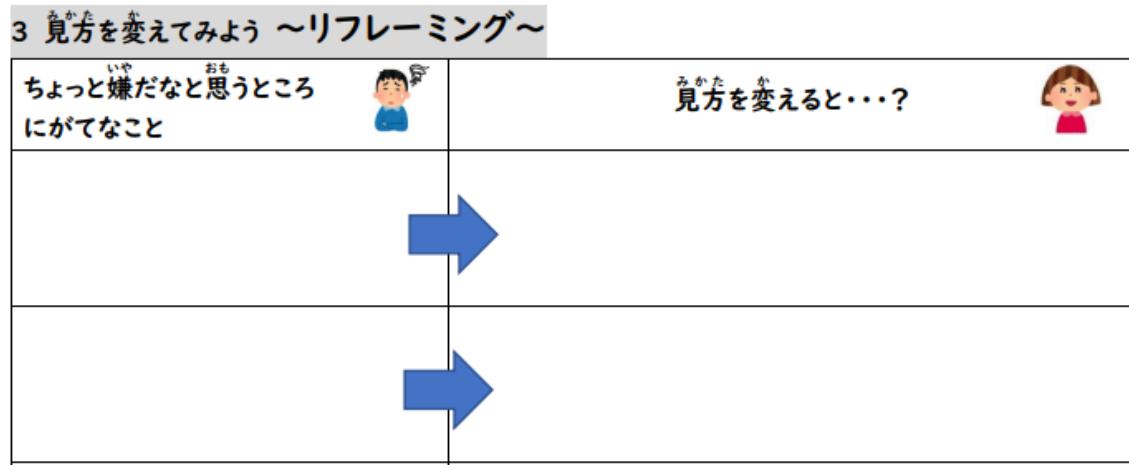
令和6年度の取組

2 自分って、どんな人だろう?

よさ・得意なこと



ちょっと嫌だなと思うところ・苦手なこと

落ち着きがない	ゆずれない こだわりがある
いろいろな ことに気付ける	自分の思いを貫 くことができる
イライラ しやすい	負けや失敗が 許せない
感性が豊か 正義感が強い	理想をもっている 一生懸命

1学期は「自己理解」をテーマに取り組みました。人権とは何か、改めて確認をし、「自分らしさ」について考えました。自分の長所や得意なこと、短所や苦手なことについて考え、ワークシートに記入していました。その際、道徳で取り組んだ「友達のいいところ探し」で作成した「友達の木」も活用し、自分の長所に目を向けられるようにしました。

また、「自分らしさ」を考える際に、短所や苦手なことと向き合うためにも「リフレーミング」について取り組みました。自分の短所と考える一面は、長所となる一面もあるのではないか、一人一人考えていきました。

2学期は「他者理解」をテーマに取り組んでいきます。

高等部

1年生の取組(2学期)

□外国人差別の解決策



ともだちになる



ほめる



あそぶ



たようせい　たいせつ
多様性を大切にするために何ができる?

なに
どんなことに気をつけたい?



お互いに助け合って意見の違いもあるけど、そこを話し合い、分かち合う。

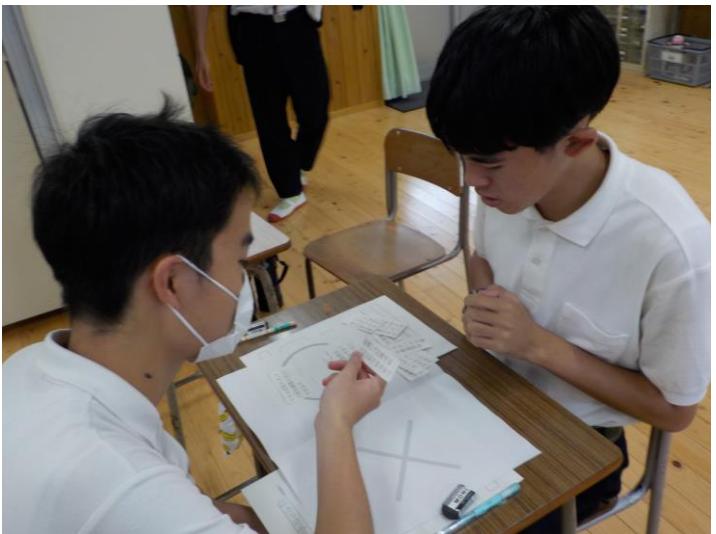
□感想

いろいろな人が、お互いを認め合い尊重し合い人権を持っていて、多様性があるというのを知ることができたのでよかったです。

ともだちになる、かなしいきもちにさせない

2学期は「多様性」をテーマに取り組みました。多様性の意味について確認し、「外国人への差別」について考えていきました。外国人への対応について○か×かを答え、なぜその対応は問題になるのかを考えました。また、差別が起きない、差別を起こさせないためにはどうしたら良いのかも考えていきました。

道徳でも、「違いを認め合う」ことについて学習していたので、「多様性」の大切さについても、意見が出やすかったです。



(初めて知ったことや気を付けたいこと、差別のない社会をつくるために自分ができることなど)

いじめん 質問と言ふ事がはじめて知りました。それを学びました。
いやだなと思いました。答えない事を学びました。

(初めて知ったことや気を付けたいこと、差別のない社会をつくるために自分ができることなど)

答えが必要のない質問を「違反質問」というのを初めて聞きました。
自分が試験をした時に答えなさい質問を答えないうに
したくなりました。

「進路保障」として、就職試験における違反質問について学びました。親の職業や家族のこと、具体的な出身地等の、本人の仕事に対する意欲や能力に関係ない質問については、答える必要がないことを確認しました。対処法は、「学校の指導により、お答えできません」と返答するとして、声に出して練習することができました。

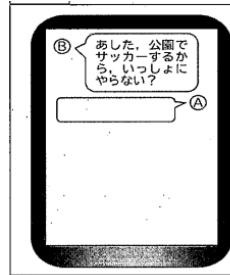
いくつかの例題を提示し、答えるべき質問か答える必要のない質問かをグループごとに話し合いながら考え、就職差別は絶対にあってはいけないことを学びました。



- ・共同の井戸を使わない
ように言われた
- ・水俣の出身というだけで
結婚や就職を断られた
- ・水俣病患者の家族に
近づかないようにされた
- ・家の中に消毒液を
かけられた



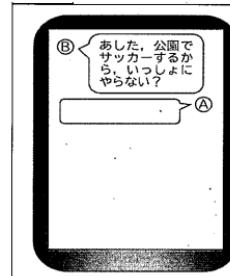
水俣病について学習を行い、人権問題について考えました。水俣病患者やその家族は、就職や結婚を断られたり、家に消毒液をかけられたりする等の差別を受けたことを知り、どんなことがあっても、差別は許されないことであると、改めて確認することができました。差別をなくすために自分ができることとして、正しい知識を持つ、相手のことを知ろうとする、相手の気持ちを考える等の意見がありました。



① Bさんからのメッセージにお返事しましょう。

明日は、家族のことでのんびりいから
イヤホンであそぶことはできません。
おもしろい日にはあそぶね。ごめんなね！

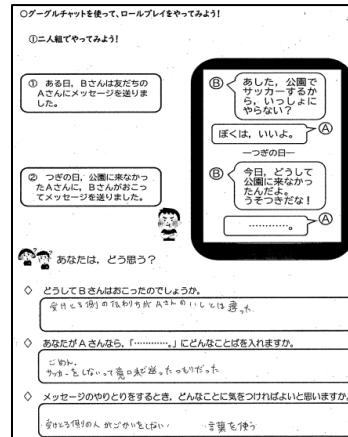
② ハート(思いやり)のある言葉になっているか、
みんなで考えましょう。



① Bさんからのメッセージにお返事しましょう。

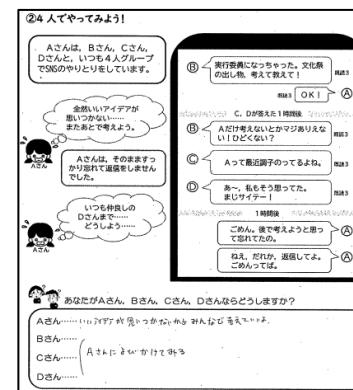
さそ、てくれてありがとうございます
おもあした用事があるからまたこん
どそ、くれるといれいな。

② ハート(思いやり)のある言葉になっているか、
みんなで考えましょう。



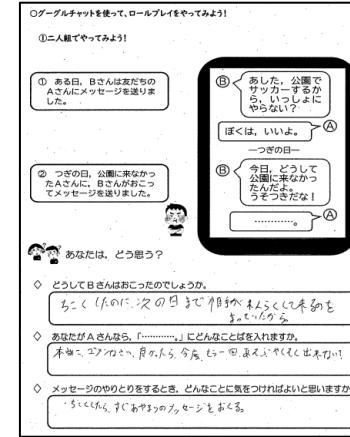
あなたは、どう思う？

△ どうしてBさんはおこったのでしょうか。
A: ちょっとおもいりやつA: おこったのは、おもいりやつ。
△ あなたがAさんなら、「……」にどんなことはお入れますか。
A: おもいりやつA: おもいりやつA: おもいりやつ。
△ メッセージのやりとりをすると、どんなことに気をつけばよいと思いますか。
A: おもいりやつA: おもいりやつA: おもいりやつ。



② 4人でやってみよう！

△ どうしてBさんはおこったのでしょうか。
A: ちょっとおもいりやつB: ちょっとおもいりやつC: ちょっとおもいりやつD: ちょっとおもいりやつ。
△ あなたがAさんなら、「……」にどんなことはお入れますか。
A: おもいりやつB: おもいりやつC: おもいりやつD: おもいりやつ。
△ メッセージのやりとりをするとき、どんなことに気をつけばよいと思いますか。
A: おもいりやつB: おもいりやつC: おもいりやつD: おもいりやつ。



あなたは、どう思う？

△ どうしてBさんはおこったのでしょうか。
A: ちょっとおもいりやつB: ちょっとおもいりやつC: ちょっとおもいりやつD: ちょっとおもいりやつ。
△ あなたがAさんなら、「……」にどんなことはお入れますか。
A: おもいりやつB: おもいりやつC: おもいりやつD: おもいりやつ。
△ メッセージのやりとりをするとき、どんなことに気をつけばよいと思いますか。
A: おもいりやつB: おもいりやつC: おもいりやつD: おもいりやつ。



② 4人でやってみよう！

△ どうしてBさんはおこったのでしょうか。
A: ちょっとおもいりやつB: ちょっとおもいりやつC: ちょっとおもいりやつD: ちょっとおもいりやつ。
△ あなたがAさんなら、「……」にどんなことはお入れますか。
A: おもいりやつB: おもいりやつC: おもいりやつD: おもいりやつ。
△ メッセージのやりとりをするとき、どんなことに気をつけばよいと思いますか。
A: おもいりやつB: おもいりやつC: おもいりやつD: おもいりやつ。

3年生の人権学習では、インターネット (SNS) における人権問題について考えました。言葉の捉え方には個人差があることに気付き、相手の顔が見えないやりとりにおいても、思いやりを持って言葉を伝える大切さを考えることができました。また、グループによっては Google Chat を利用してロールプレイをし、普段のやりとりを振り返りながらメッセージのやりとりを行うことができました。

インターネット (SNS) でのやりとりは、これからより身近なものになっていく可能性が高いです。相手の顔が見えない場面でも相手のことを考えて発信できるよう、身近な場面と実際の場面の両方を想定しながら、適切な表現方法を身に付けることができるように取り組んでいきます。

今後も、人権を尊重する社会の実現に向けて、

児童生徒、職員、みんなで、よりよい学校の在り方を考え、

行動していきたいと思います。

地域の皆様のご理解とご協力を

よろしくお願いします。